

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2016年7月27日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

3次元CADから学ぶ 機械設計入門[第2版]

正誤対象

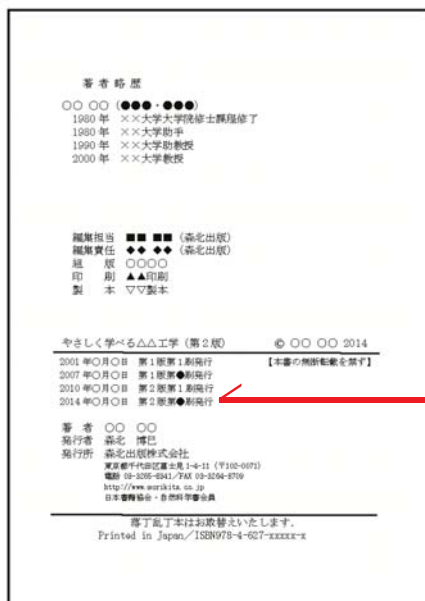
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

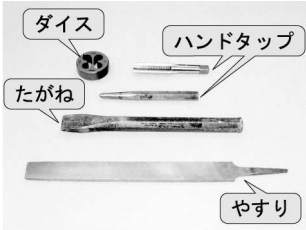
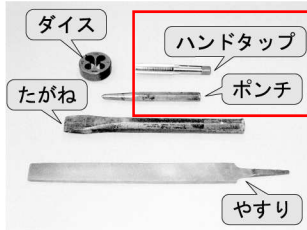
お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 3 をご参照ください
2	対応刷数 2 より 3 をご参照ください
3	対応刷数 3 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
2	v	目次 3.3.2	3.3.2 セラミックス ▶ 104	3.3.2 焼結材料 ▶ 104
2	49	ポイント の囲み内	ASME Y14.5M	ASME Y14.5-2009
1	65	図 2.1	action	act
1	65	7 行目	action	act
1	65	9 行目	action	act
1	76	下から 11 行目	action	act
2	84	図 3.1	(下から 3 行目) セラミックス	焼結材料
2	89	図 3.9(a)		
2	101	下から 2 行目	…プラスチックとセラミックスのほかに…	…プラスチックと焼結材料のほかに…
2	104	3.3.2 見出し	3.3.2 セラミックス	3.3.2 焼結材料
2	104	下から 4 行目～ p105 1 行 目	右のように修正 (赤字が変更箇所)	<p>高強度で耐熱性に優れる焼結材料には、主として酸化物系，炭化物系，窒化物系などがある。陶器やレンガなどは旧来の焼結材料であり，近年は製造方法が高度化され，特性が著しく向上した高強度の焼結材料が開発されている．ここでは，構造用と切削工具用の焼結材料の概要を述べる．また，焼結材料の製品例を図 3.34 に示す．</p>

2	105	2行目	(1) 構造用セラミックス	(1) 構造用焼結材料		
2	105	3行目	構造用セラミックスとして実用化されているものは…	構造用焼結材料として実用化されているものは…		
2	105	4行目	アルミナは代表的なセラミックスであり、…	アルミナは代表的な酸化物系焼結材料であり、…		
2	105	3.3.2節 (2)	右のように修正	<p>(2) 切削工具用焼結材料</p> <p>切削工具用焼結材料としては、アルミナ、炭化ケイ素、超硬合金およびサーメットが代表的である。これらのうち、アルミナと炭化ケイ素は、研削砥石に用いられる。超硬合金は炭化タングステン粉末を用い、コバルトを結合剤として加圧成形した後、焼結したものであり、耐摩耗性に優れ、高剛性であり、さらに耐熱性にも優れるため、切削工具だけでなくプレス加工におけるポンチやダイスとしても用いられている。また、サーメットを構成する炭化チタン (TiC) や窒化チタン (TiN) は、切削工具や機械部品の耐食性や耐摩耗性を向上させるためのコーティング材料としても用いられている。</p>		
3	130	図 4.59(b)	右のように変更	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> % O1000 G90G17G54 G00X0Y0 G00Z50.0 S650 F260 M03 M08 G00Z2.0 G01Z-1.0 M98P2000 G00Z50.0 M15 M30 % </td> <td style="width: 50%; border: none;"> % O2000(SUB) G00X0Y0 G01G41X15.0Y10.0D01 G03X0Y25.0R15.0 G03I0J-25.0 G03X-15.0Y10.0R15.0 G01G40X0Y0 M99 % </td> </tr> </table>	% O1000 G90G17G54 G00X0Y0 G00Z50.0 S650 F260 M03 M08 G00Z2.0 G01Z-1.0 M98P2000 G00Z50.0 M15 M30 %	% O2000(SUB) G00X0Y0 G01G41X15.0Y10.0 D01 G03X0Y25.0R15.0 G03I0J-25.0 G03X-15.0Y10.0 R15.0 G01G40X0Y0 M99 %
% O1000 G90G17G54 G00X0Y0 G00Z50.0 S650 F260 M03 M08 G00Z2.0 G01Z-1.0 M98P2000 G00Z50.0 M15 M30 %	% O2000(SUB) G00X0Y0 G01G41X15.0Y10.0 D01 G03X0Y25.0R15.0 G03I0J-25.0 G03X-15.0Y10.0 R15.0 G01G40X0Y0 M99 %					
2	160	例題 5.8 解答 4行目	$d \geq \sqrt[3]{\frac{32T}{\pi G \theta_a}} = \frac{32 \times 40.1 \times 10^3}{\pi \times 80 \times 10^3 \times \{(1/4)/10^3\} \times (2\pi/360)} = 32.89 \text{ mm}$	$d \geq \sqrt[4]{\frac{32T}{\pi G \theta_a}} = \sqrt[4]{\frac{32 \times 40.1 \times 10^3}{\pi \times 80 \times 10^3 \times \{(1/4)/10^3\} \times (2\pi/360)}} = 32.89 \text{ mm}$		
2	221	索引	構造用セラミックス……………105	構造用焼結材料……………105		

2	222	索引	切削工具用セラミックス……………105 セラミックス……………104	切削工具用焼結材料……………105 削除
2	223	索引	ファインセラミックス……………104	削除

最終更新 2016.7